【授業科目】在宅看護学演習Ⅰ(文献検討)　Advanced Seminar of Home Health Nursing Ⅰ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
多次 淳一郎	1年次 前　期	選　択	2	60	演　習	巻末 掲載

授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	在宅看護に関連する理論、尺度等の測定ツールについて学ぶ。その知識を基盤とし、さまざまな在宅療養者と家族および取り巻く環境の特徴、看護ケア、ケアマネジメントに関する論文を題材として文献検討を行い、知見を整理する。また、効果的な在宅療養者と家族の支援方略を探求する。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出された課題について、全体の総評コメントを資料にて講義中に公開する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①、③、④の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	1. 在宅療養者と家族および取り巻く環境に関する論文について、系統的に知見を整理することができる。 2. 文献検討から明らかになった知見から、効果的な在宅看護実践の方略を検討できる。 3. 文献検討を通じてエビデンスに基づいて在宅看護実践を展開する意義を理解し、説明できる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	第1回～第30回　事前学習：配布資料と授業で紹介する文献は、時間外にも読み授業での学びを深める。 関連する文献を自分でも検索し、授業の学びと合わせてプレゼンテーションの資料作成にいかす。(各60分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第1回　コースオリエンテーション　最近の在宅看護学研究の動向 第2～4回　在宅看護に関連する理論、尺度等の測定ツール 第5～8回　在宅移行期における療養者と家族の支援ニーズと看護ケアに関する文献検討 第9～12回　慢性疾患の管理が必要な療養者と家族の支援ニーズと看護ケアに関する文献検討 第13～16回　病状・機能障害が進行する疾患の療養者と家族の支援ニーズと看護ケアに関する文献検討 第17～20回　在宅で療養する子どもと家族の支援ニーズと看護ケアに関する文献検討 第21～24回　在宅での看取りにおける支援ニーズと看護ケアに関する文献検討 第25～28回　家族介護者の健康や生活での支援ニーズと看護ケアに関する文献検討 第29・30回　在宅療養者・家族の災害時の支援ニーズと看護ケアに関する文献検討
評価方法 評価基準	参加状況（40%） プレゼンテーション（60%：１名あたり2回担当し、各30%）

教科書	なし	参考書等	適時提示